

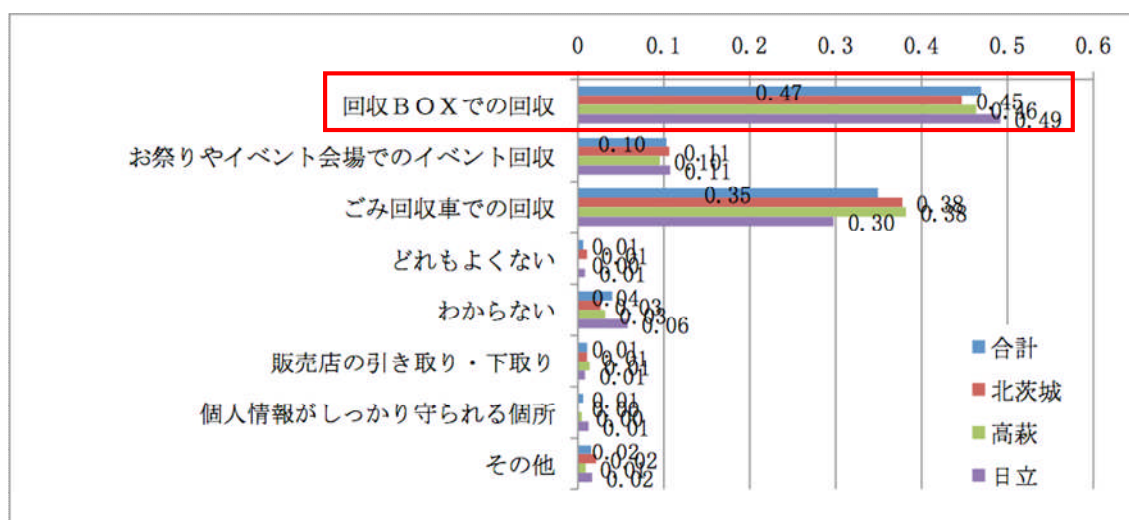
小型家電の回収に関するファクトデータ

(1) 回収方式毎の検討に関するファクトデータ

①ボックス回収（物理的・心理的排出のし易さ（ボックス回収の選択に至った動機））

■小型家電の回収方法のうち協力してもよいと思う方法【茨城県住民アンケート】

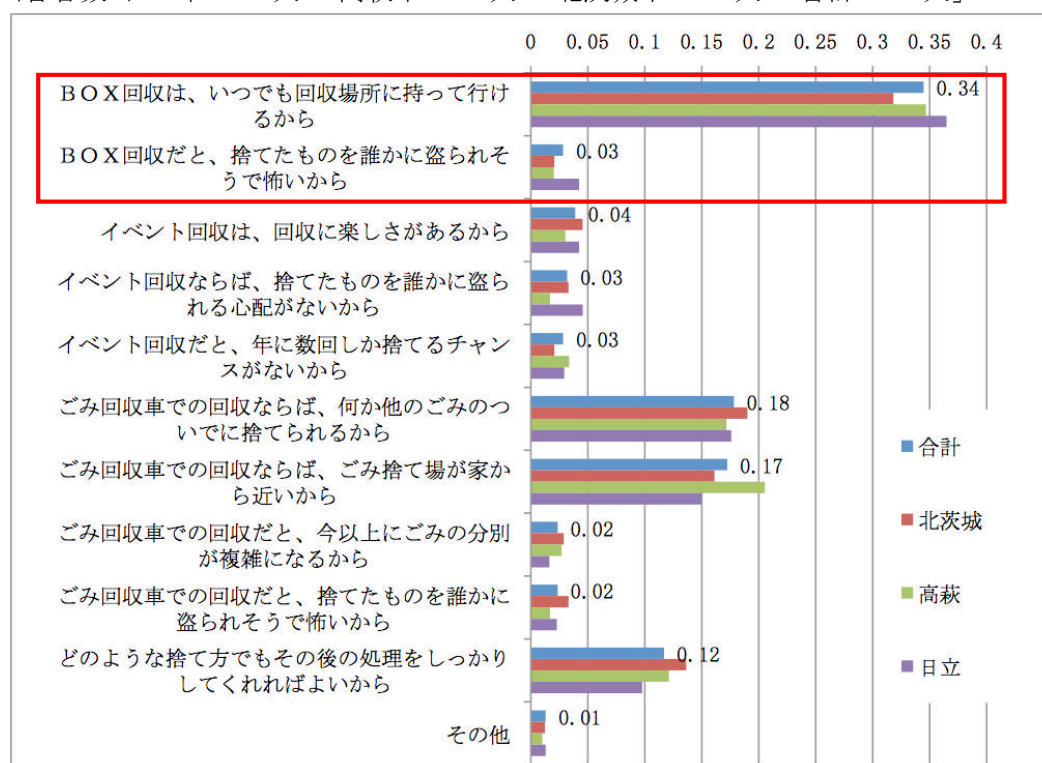
[回答者数:日立市 167 人 高萩市 144 人 北茨城市 118 人 合計 426 人]



※グラフ内数値は「回答者／全回答者数」（以下、同様）

■上記の方法を選択した理由【茨城県住民アンケート】

[回答者数:日立市 154 人 高萩市 142 人 北茨城市 115 人 合計 411 人]



■ボックス回収を利用しない理由【水俣市住民への聞き取り調査】

[聞き取り調査対象人数:254人(男性85人／女性169人)]

・回収品がない	35人	(男性13名 女性22名)
・個人情報が気になる	27人	(男性4名 女性23名)
・回収を理解していなかった	7人	(男性5名 女性2名)
・回収品を持ってくるのが面倒	2人	(男性1名 女性1名)
・回収品を持ってくるのを忘れる	1人	(男性1名 女性0名)
・場所が不便	1人	(男性0名 女性1名)
・ステーション回収の対象地区である	1人	(男性1名 女性0名)
・特に理由なし	7人	(男性0名 女性7名)

②ボックス回収（盗難等のトラブルの可能性）

■トラブル事例その背景・対応策の例

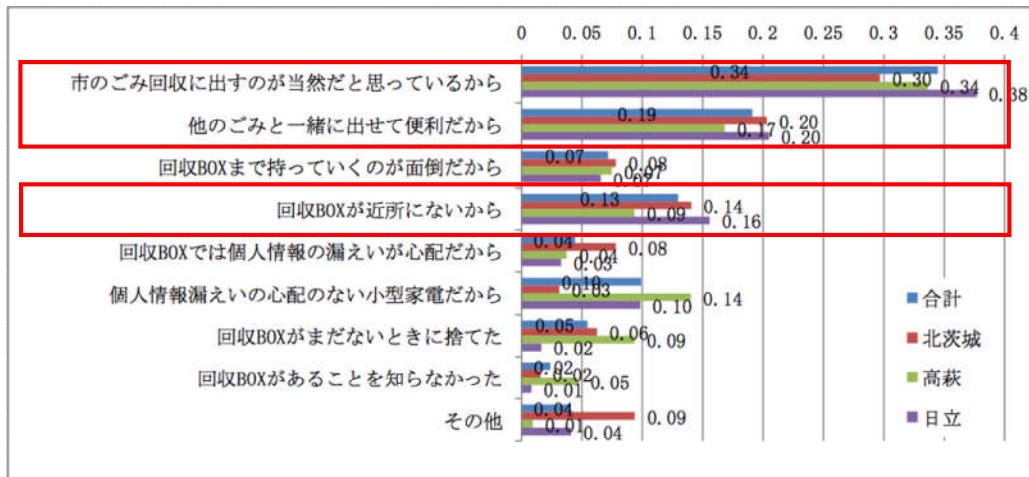
トラブル	事例とその背景	対応策
異物の混入	回収ボックスにごみが入投入された。当該回収ボックスは中身が見える仕様であり、一度ごみが入投入されてしまうとごみ箱と勘違いされ、ごみの投入が増加する懸念がある。(駅)	収集運搬業者が回収
	回収ボックスに大量のごみの混入が確認された。当該回収ボックスは、出入口ドア付近に設置され、小型家電回収を示すポスターも掲示されていた。ただし、ボックス周辺にゴミ箱は、置かれていない。店舗内に入り、すぐ左にファストフード店があり、販売カウンター脇にごみ箱が置かれているが、目立たない印象。 回収ボックスへの混入物は、空き缶やペットボトルと一緒にファストフード店のものが多いので、店外へ出るときにごみ箱代わりにされている可能性がある。(店舗)	回収ボックスの投入口へごみを投入しないよう、注意を促す張り紙を貼り付けるよう担当者に依頼
盗難	回収ボックスに入投入したはずの機器が、回収ボックスからなくなっていた。盗難の可能性はある。(学校)	学校内で全校生徒に注意喚起。放課後には、回収ボックスを撤去。
	市民の方から、スーパーに設置してある回収ボックスから「小型家電を抜き取りしている人を見かけた」との通報。盗難の可能性はある。(スーパー)	ボックスの移動を検討したが、店内が手狭なため断念。注意喚起のポップを回収ボックス投入口、背面の2カ所に設置。
ボックスの破損	投入口のスライダーが破損。回収ボックスの仕様上、投入口のスライダー部分が曲がりやすい構造であり、いたずらされた可能性が高い。(駅・店舗)	収集運搬業者が、当該回収ボックスから小型家電を回収する際に、スライダーの曲がった部分を修復。

トラブル	事例とその背景	対応策
ボックスの破損	回収ボックスの扉は施錠された状態で、鍵の一部が曲がっていた。手で無理に引っ張った為、回収ボックスの鍵が歪み、扉が外れてしまった可能性が高い。平日は事務職員が常駐しているが、休日駅の待合スペースとして利用可能な時間は職員が不在であり、その時間に破壊された可能性が高い。 (公共施設)	扉の上部と下部に南京錠 2 つ追加。施錠時であっても、回収ボックス本体の扉の間に約 5mm 程度の隙間があり、指を入れると、手が掛けられるほどの隙間(約 1~2cm)ができる仕様だったため、隙間部分に手や工具を掛けられないように鍵を増やした。

③ピックアップ回収（物理的・心理的排出のし易さ）

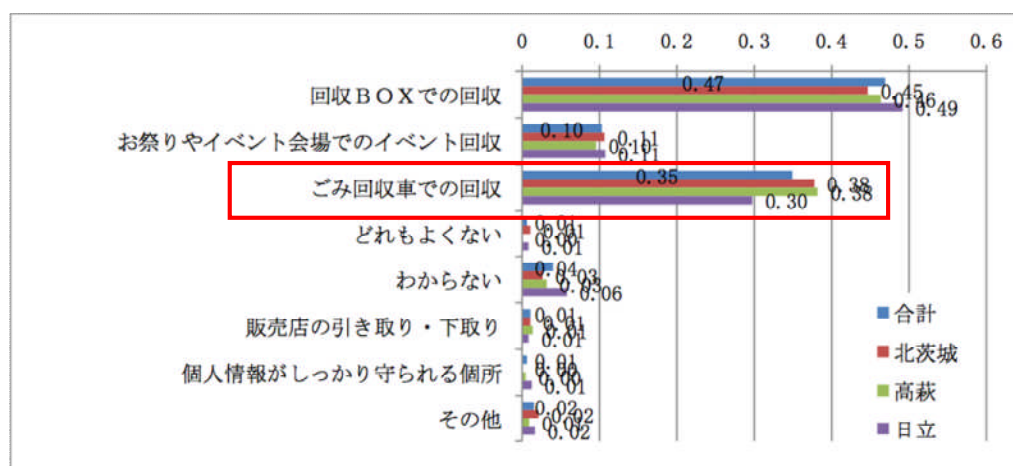
■使用済小型家電を市のごみ回収に出す理由【茨城県住民アンケート】

[回答者数:日立市 81 人 高萩市 68 人 北茨城市 47 人 合計 196 人]



■小型家電の回収方法のうち協力してもよいと思う方法【茨城県住民アンケート】

[回答者数:日立市 167 人 高萩市 144 人 北茨城市 118 人 合計 426 人]



※グラフ内数値は「回答者／全回答者数」

■ステーション回収の利用意向と利用しない理由【水俣市住民への聞き取り調査】

・利用する	189 人	(男性 58 名 女性 131 名)
・利用しない	29 人	(男性 10 名 女性 19 名)
・無回答	36 人	(男性 17 名 女性 19 名)

* 利用しない理由

・月一回の回収で不便	9 人	(男性 1 名 女性 8 名)
・個人情報が気になって捨てられない	5 人	(男性 1 名 女性 4 名)
・回収品がない	4 人	(男性 2 名 女性 2 名)
・分別が面倒	2 人	(男性 2 名 女性 0 名)
・ボックス回収のほうが良い	2 人	(男性 2 名 女性 0 名)
・興味がない	1 人	(男性 1 名 女性 0 名)

④ピックアップ回収・ステーション回収（盗難等のトラブルの可能性）

■ピックアップ回収／ステーション回収実施地域における管理対策

			立会人の有無	異物対策	盗難防止対策
ピックアップ	秋田県	大館市	無人	—	特になし
		潟上市	無人	—	特になし
	茨城県	日立市	指導員が立ち会い	—	従来から指導員を配置
		高萩市	指導員が立ち会い	—	従来から指導員を配置
	福岡県	大牟田市	無人	—	特になし
ステーション	福岡県	筑後市 大木町	指導員が立ち会い	コンテナ前に立つ指導員（地区の代表住民）に事前に指導	ステーションには従来から指導員を配置
	愛知県	津島市	回収ボランティアが立ち会い	回収ボランティアに回収対象品目を周知	ステーションには回収ボランティアを配置
	熊本県	水俣市	リサイクル推進員が立ち会い	回収対象品目を写真で明示したチラシを配付 リサイクル推進員に説明会を開催	施錠及びチェーンを用いた他のコンテナとの連結

※ 大きなトラブルではないが、津島市にて、小型家電回収拠点でないリサイクルステーションに、小型家電が持ち込まれ、回収ボランティアが回収拠点であるリサイクルステーションまで持ち込んだ事例が見られた。

※ 茨城県日立市では、自己搬入した粗大ごみの中から、小型家電を市民自らが分別してもらうこととしていた。年末に自己搬入ごみの排出量が急増した際、市の職員を増員して分別を行ったが、搬入する市民の車が長い行列を作ったため、急遽小型家電の分別・回収を中止し、全て搬入ごみとして処理を行ったという事例があった。

⑤イベント回収（アクセスの容易性（イベントにおける効率的な回収））

■イベント概要と回収実績【各モデル地域での回収実績】

	イベント名	開催日時・曜日	開催場所	概要	ターゲット層	来場者数 人	回収対象 地域の人口 人	回収台数 台	イベント来場者 数／回収対象 地域の人口 %	回収台数／来 場者数 %	備考 （広報手法）
秋田	第9回あきたエコ&リサイクルフェスティバル	平成21年9月5日（土）～6日（日）	秋田駅前買物広場大屋根「ビッググループ」、「アゴラ広場」 【車で来場可能・駅から徒歩1分】	回収ボックスを2箇所設置。「こでん回収」「パネル展示」「アンケート」を実施		50,000	325,784	205	15.35	0.41	
	3R推進秋田大会	平成21年9月5日（土）	秋田アトリオン地下1階「イベント広場」【車で来場可能・駅から徒歩5分】	回収ボックスを1箇所設置。「こでん回収」「パネル展示」「アンケート」を実施		1,000	325,784	5	0.31	0.50	
	こでん回収ECOイベント	平成21年11月21日（土）～22日（日）	イオンモール秋田1階セントラルコート 【車で来場可能・駅から徒歩20分（バスあり）】	回収ボックスを2箇所設置。「こでん回収」「パネル展示」「アンケート」「こでんちゃん輪投げコーナー」「風船プレゼント」「こでん分解体験コーナー」を実施。		2,443	325,784	314	0.75	12.85	
茨城	ひたち環境都市フェスタ	平成21年7月18日、19日	日立新都市広場周辺			23,000	194,054	173	11.85	0.75	
	古河関東ド・マンナ祭り	平成21年10月10日、11日	古河市広域中央運動公園			120,000	143,879	658	83.40	0.55	
	サイエンス・カフェin高萩市	平成21年12月12日	高萩市総合福祉センター				31,285	26	0.00	－	
	サイエンス・カフェin北茨城市	平成21年1月23日	北茨城市市民ふれあいセンター				47,419	20	0.00	－	
東京	江東区民まつり	平成21年10月17日（土）～18日（日）	都立木場公園	木場公園内『ふれあい広場・エコ環境ゾーン』ごみ減量普及啓発コーナーテントにて回収		400,000	445,571	171	89.77	0.04	
	法政大学	平成21年10月18日	多摩キャンパス		学生	不明	551,354	0	－	－	
	帝京大学	平成21年10月25日	八王子キャンパス		学生	9,000	551,354	0	1.63	0.00	
	たまかんフェスタ	平成21年10月25日	多摩清掃工場			1,000	551,354	26	0.18	2.60	
	工学院大学	平成21年10月31日	八王子キャンパス		学生	不明	551,354	0	－	－	
	東京工業高等専門学校	平成21年10月31日	東京工業高等専門学校大学内			3,000	551,354	2	0.54	0.07	
	杏林大学	平成21年11月1日	八王子キャンパス		学生	3,400	551,354	21	0.62	0.62	
	あったかホール祭り	平成21年11月1日	八王子北野余熱利用センター			6,300	551,354	8	1.14	0.13	
	多摩美術大学	平成21年11月2日	八王子キャンパス		学生	20,000	551,354	0	3.63	0.00	
	東京薬科大学	平成21年11月3日	東京薬科大学		学生	4,600	551,354	37	0.83	0.80	
	東京純心大学	平成21年11月7日	東京純心大学		学生	1,200	551,354	5	0.22	0.42	

	イベント名	開催日時・曜日	開催場所	概要	ターゲット層	来場者数 人	回収対象 地域の人口 人	回収台数 台	イベント来場者 数／回収対象 地域の人口 %	回収台数／来 場者数 %	備考 (広報手法)
東京	ヤマザキ動物看護大学	平成21年11月8日	ヤマザキ動物看護大学		学生	409	551,354	0	0.07	0.00	
	いちよう祭り	平成21年11月21日～11月22日	綾南公演本園(学生広場)			302,000	551,354	60	54.77	0.02	
	森田正光さん環境講演会と映画「WALL・E」上映会	平成21年11月22日	八王子市民会館			1,400	551,354	32	0.25	2.29	
京都	龍谷大学龍谷祭	平成21年11月1日(日)～3日(火)	龍谷大学		学生		1,465,816	7	0.00	－	
	梅小路公園一木手づくり市	平成21年11月5日(木)、12月3日(木)	梅小路公園				1,465,816	3	0.00	－	
	池坊短期大学大学祭	平成21年11月7日(土)～8日(日)	池坊短期大学		学生		1,465,816	17	0.00	－	
	百万遍さんの手づくり市	平成21年11月15日(日)、12月15日(火)、平成22年1月15日(金)	知恩寺				1,465,816	13	0.00	－	
	京都サンガF.C.(11/21)	平成21年11月21日(土)	西京極運動公園		京都サンガサポーター	14,043	1,465,816	141	0.96	1.00	
	京都サンガF.C.(11/28)	平成21年11月28日(土)	西京極運動公園		京都サンガサポーター	18,121	1,465,816	161	1.24	0.89	
	市役所フリーマ	平成21年11月22日(日)、12月6日(日)、平成22年1月31日(日)	京都市役所				1,465,816	13	0.00	－	出店者向けチラシ配布
	2010京都市新旬ロック！！	平成22年1月23日(土)	京都府立文化芸術会館				1,465,816	9	0.00	－	
	京都ハンナリーズホームゲーム(1/23)	平成22年1月23日(土)	京都市体育館		京都ハンナリーズサポーター		1,465,816	7	0.00	－	
	京都ハンナリーズホームゲーム(1/24)	平成22年1月24日(日)	京都市体育館		京都ハンナリーズサポーター		1,465,816	1	0.00	－	
福岡	おおむた環境フェア	平成21年3月22日	エコサルクセンター	持参した人には、メタリックバルーンをプレゼント				31	－	－	
	道の駅9周年記念祭	10月10日～12日	ゆめタウン大牟田	持参した先着100人に、道の駅「おおむた」の特産品とエコタオルをプレゼント				98	－	－	
	新栄町秋の環境フェア	平成22年11月8日	新栄町商店街内	持参した人にエコタオルのプレゼント				51	－	－	
	エコタウンフェア2009	平成22年11月15日	大牟田市地域活性化センター			3,000		18	－	0.60	
	道の駅(正月用品即売会)	平成22年12月27日						4	－	－	
水俣市	環境モデル都市フェスタ	平成21年11月22日(日)	水俣市文化会館、もやい館【車で来場可能・駅から徒歩20分(バスあり)】				27,327	36	－	－	

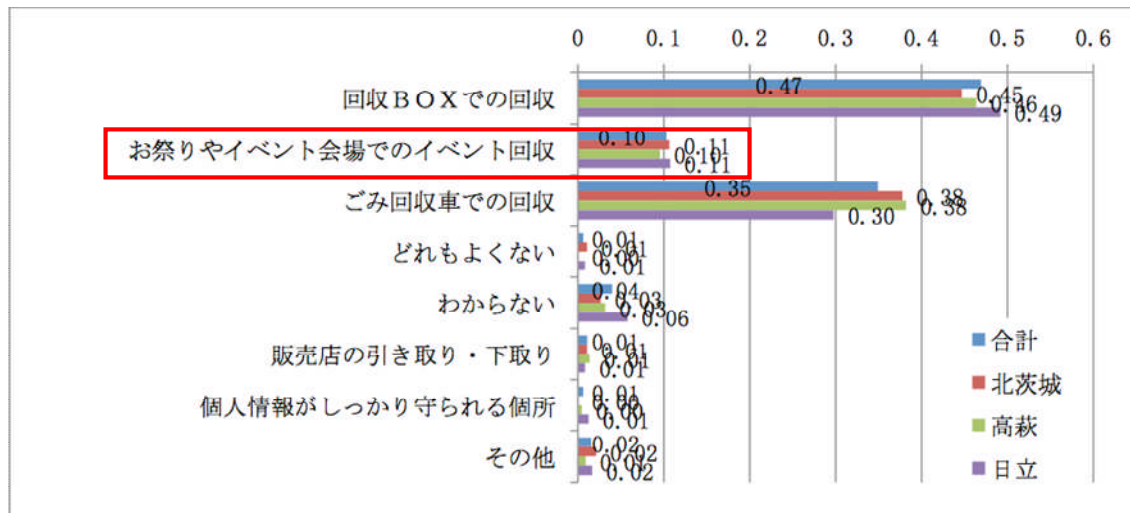
■特徴的なイベント回収事例【各モデル地域への聞き取り等により作成】

実施地域	イベント名	回収結果	イベントの特徴・回収の実施状況	備考
秋田県	こでん回収 ECO イベント	来場者：2,443 人 回収台数：314 台（合計） ：0.13 台／来場者	回収ボックスを 2 箇所設置。「こでん回収」「パネル展示」「アンケート」「こでんちゃん輪投げコーナー」「風船プレゼント」「こでん分解体験コーナー」を実施。	ターゲットを小学校高学年と設定し、秋田市内の全ての小学校にチラシを配布し、でん回収試験への参加を呼びかけ。 イベントでは、パネル展示にて環境学習への取組を PR した他、こでん分解体験コーナーにて子供たちに分解作業を体験。 →ターゲットを絞り込み、適切な周知を行ったこと、参加者に体験させる等、小型家電回収の取組を積極的にアピールしたことにより回収台数が伸びたと推測
茨城県	ひたち環境フェスタ	来場者：23,000 人 回収台数：173 台（合計） ：0.0075 台／来場者	広く環境情報を提供し、環境への意識の高揚を図る事を目的に開催されるイベント。 出展内容は以下の 3 点。「小型家電回収」「周知活動（日立市内で行っているボックス回収について）」「環境教育（レアメタルやリサイクルに関するクイズ及び小型家電解体体験）」	周知は小中学生を中心に実施（イベント開催の 5 日前に日立市内小学校の 4～6 年生（全 25 校 約 5,600 部）に対して本事業の告知チラシを配布）。 周知不足（ターゲット、数量）から、来場者数と環境をテーマにしたイベントの特性から考えて、回収量としては当初想定よりも少ない結果となった。
茨城県	古河関東ド・マンナカ祭り	来場者：12 万人 回収台数：658 個 ：0.0055 台／来場者	地元で毎年開催される産業祭にブース出展し、回収を実施。	十分な駐車スペースが準備されており、小型家電持参者にとってアクセスが良かった。 会場となった古河市はボックス回収等の他の回収は全く実施していない地域であったため、事前に全戸にチラシを配付したり、イベントのチラシにも小型家電回収のスペースを確保するなど事前の周知を手厚く実施したことも回収台数が伸びた要因と推察される。
東京都江東区	江東区民まつり	来場者：40 万人 回収台数：171 個 ：0.0004 台／来場者	区の定例行事。木場公園内「ふれあい広場・エコ環境ゾーン」ごみ減量普及啓発コーナーテントにて回収。	区民にとっての定例行事であり、イベント自体の集客力が高い。区の広報（区民まつり特集号）に小型家電回収モデル事業を紹介するなど事前の広報も一定の効果を与えたものと推察される。
京都市	京都サンガ F.C. (11/21、11/28)	来場者：32,164（2 試合合計） 回収台数：302 台（合計） ：0.0093 台／来場者	回収への協力者を対象に選手のサイン等が当たる抽選会を実施。	10 月のホームゲームでのチラシ配布やメールマガジンによる事業告知などを実施したことで、適切なターゲットに効率よく周知することができたことが回収台数を増加させた要因と推察される。

⑥イベント回収（物理的・心理的排出のし易さ）

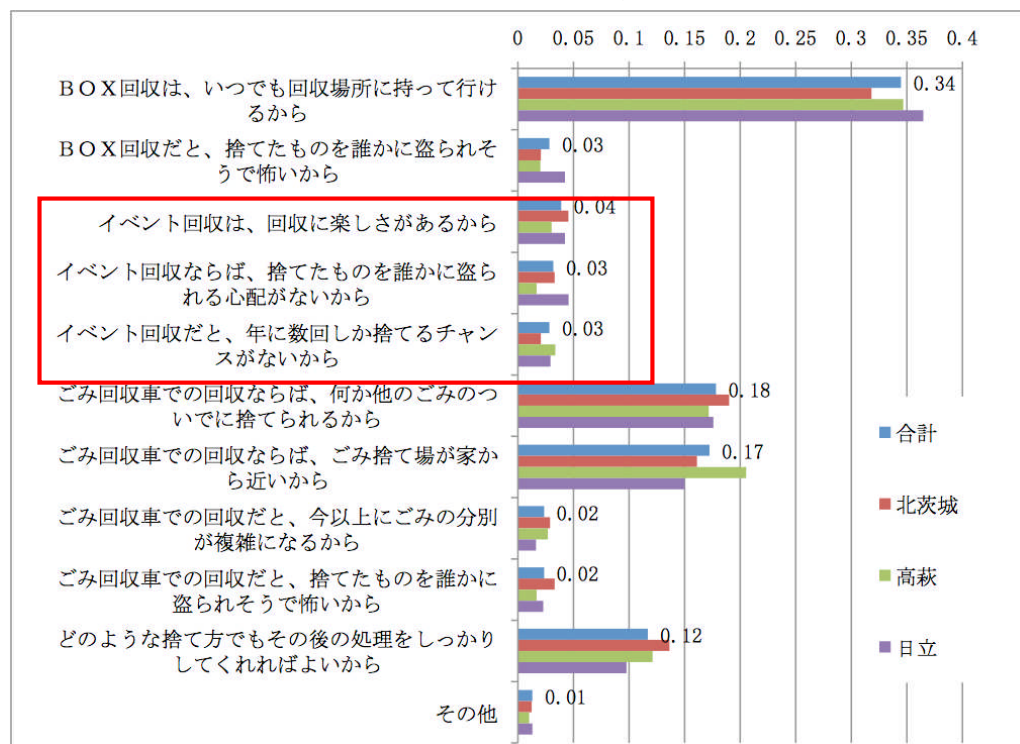
■小型家電の回収方法のうち協力してもよいと思う方法【茨城県住民アンケート】

[回答者数:日立市 167 人 高萩市 144 人 北茨城市 118 人 合計 426 人]



■上記の方法を選択した理由【茨城県住民アンケート】

[回答者数:日立市 154 人 高萩市 142 人 北茨城市 115 人 合計 411 人]



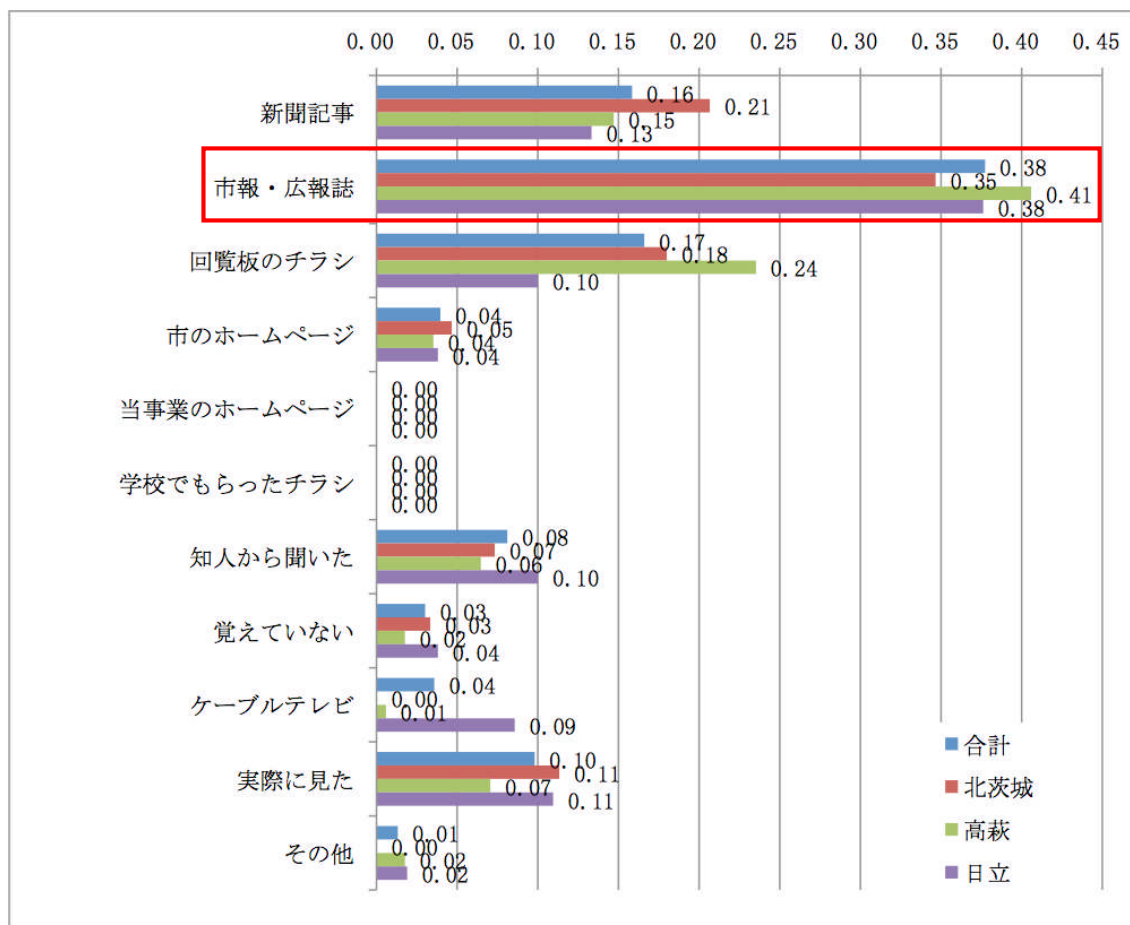
※グラフ内数値は「回答者／全回答者数」（以下、同様）

(2) 市民とのコミュニケーション手法の検討に関するファクトデータ

①ボックス回収を認知した周知手法に関するファクトデータ

【茨城県住民アンケート】

[回答者数:日立市 126人 高萩市 100人 北茨城市 88人 合計 314人]



※グラフ内数値は「回答者／全回答者数」(以下、同様)

【東京都(江東区)住民アンケート】

[回答者数:92人(男性46人、女性46人)]

・ こうとう区報	78.1%
・ 偶然回収ボックスを見かけた	34.4%
・ ポスター・チラシ	15.6%
・ 広報東京都	12.5%
・ 新聞記事	12.5%
・ ホームページ	6.3%
・ 家族や友人から聞いた	3.1%
・ その他	3.1%
・ 雑誌	0.0%

【水俣市住民への聞き取り調査】

[調査概要:聞き取り調査対象人数:98 人(男性 34 人／女性 64 人)]

- | | | |
|----------------|------|-------------------|
| ・ 市報 | 63 人 | (男性 24 名 女性 39 名) |
| ・ 実際に回収ボックスを見て | 25 人 | (男性 8 名 女性 17 名) |
| ・ 無回答 | 10 人 | (男性 2 名 女性 8 名) |

②ステーション回収を認知した周知手法に関するファクトデータ

【名古屋市・津島市住民アンケート】

[聞き取り調査対象人数:193 人(男性 66 人／女性 127 人)]

- | | |
|------------------------|--------------|
| ・ 市の広報 | 33.3% (69 人) |
| ・ リサイクルステーションで配付されたチラシ | 26.4% (55 人) |
| ・ 新聞の折込チラシ | 25.2% (52 人) |
| ・ 新聞記事 | 15.5% (32 人) |
| ・ テレビのニュース | 9.2% (19 人) |
| ・ 知り合いから聞いた | 5.8% (12 人) |
| ・ インターネット | 3.9% (8 人) |
| ・ リサイクルステーションをたまたま見つけた | 3.4% (7 人) |
| ・ ラジオのニュース | 1.0% (2 人) |
| ・ その他 | 0.5% (1 人) |

【水俣市住民への聞き取り調査】

[聞き取り調査対象人数:170 人(男性 70 人／女性 100 人)]

- | | | |
|------------------------------|-------|-------------------|
| ・ 知っている | 133 人 | (男性 56 人 女性 77 人) |
| ※ 知っている理由:配布チラシを見たから、市報を見たから | | |
| ・ 知らない | 37 人 | (男性 14 人 女性 23 人) |
| ※ 知らない理由:チラシを見たが、読んでいない | | |

③ イベント回収を認知した周知手法に関するファクトデータ

【秋田県住民アンケート調査】

回答	回答数	割合	有効回答数
「こでん回収試験」のことを 何で知ったか？ (複数回答可)			542 (回答者443)
ニュース・記事	178	32.84 %	
新聞広告	69	12.73 %	
チラシ・広報	136	25.09 %	
ポスター	52	9.59 %	
バス車内広告	10	1.85 %	
知人・友人	28	5.17 %	
インターネット	18	3.32 %	
その他	51	9.41 %	
合計	542	100.00 %	

【京都市対面アンケート調査】

選択肢	回答数	選択率
ポスター	0	0.0%
市の広報誌（市民しんぶん）	2	1.3%
新聞折り込みチラシ	1	0.6%
新聞記事	11	7.1%
テレビのニュース	0	0.0%
インターネットのニュース	4	2.6%
ラジオ	0	0.0%
大学祭の配布チラシ等	2	1.3%
手作り市、フリーマーケット、新風館などのイベント情報	2	1.3%
京都サンガ F.C.ホームゲーム（メルマガ・ホームページなど）	120	77.4%
オープニングイベント会場（11/1 新風館）	0	0.0%
ショッピングセンターやイベント会場などで、回収ボックスを見かけた	1	0.6%
親戚・知人	7	4.5%
Blog 等	1	0.6%
その他	4	2.6%

※ 京都サンガ F.C.ホームゲームでの使用済小型家電の回収台数が多いため、京都サンガ F.C.ホームゲーム（メルマガ・ホームページなど）の回答数が多いと考えられる。

【水俣市住民への聞き取り調査】

[聞き取り調査対象人数:6 人(男性 4 人／女性 2 人)]

- ・ 広報誌（市報） 4 人（男性 3 人 女性 1 人）
- ・ チラシ（環境フェスタ） 2 人（男性 1 人 女性 1 人）